

## 【ローマ人への手紙15章】

「キリストが神の栄光のために、私たちを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れなさい。」(ローマ15:7)

ローマに向けて送ったパウロの最後のメッセージがこの7節です。イエス様が十字架にお掛かりになられる前に、最後の晩餐をされた時に、弟子の足を洗って「あなたがたは互いに愛し合いなさい。私があるがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」と言われましたが、このお言葉と同じように、「あなたがたも互いに受け入れなさい。」とパウロが言ったことは、最後のメッセージとしてふさわしいものであり、神様が私たちに望んでおられるメッセージですね。

互いに受け入れなさいと言われていたというのは、受け入れていないことがあったわけです。ユダヤ人と異邦人の信者の間に不和がありました。

受け入れるという意味は、ギリシャ語で「家に招いてもてなす」という意味です。「この人は私のよく知っている人です。」と言って自分の仲間を紹介するという行動を伴います。単に礼拝を一緒にすればそれではいいのではなく、生活の中で家族として祈り助け合うということです。意見も違う、思いも違う、ある時は敵対していることもあるでしょうが、どんな人でも「キリストが代わりに死んでくださったほどの人」(ローマ14:15)であり、神様の目から見たら高価で尊い、愛されている存在です。(イザヤ43:4) 自分がどのようなところから救われてきたかを思うと、他人を裁くことはできません。私達は互いに受け入れ合えますように！！

有名なコーリー・テン・ブームの証しです。彼女は無実の罪でナチスによって強制収容所に送られ、想像を絶する残虐行為の中で、食事もなく与えられず、多くの人々が病気と飢餓の中でたった一人生き残りました。誰とも会えず、イエス様との交わりだけが唯一の慰めであり、自分の罪を赦してくださったので、加害者も赦しますと、やっと祈れました。しかしあの残忍なナチの衛兵だけはどうしても赦すことができませんでした。その後無罪の判決を受けて釈放され、彼女は著名な執筆家、講演者となって、世界を回りました。

ある講演会で話し終わった時、なんと残虐な事をしたあの衛兵が彼女の前に現れ赦しをこうて握手してきた時に、彼女は思わず「イエス様、助けてください！」と心の中で叫びました。無感動に彼の手に自分の手を差し出した時、電流が全身に走り、二人の手に流れ、癒しの炎が全身を駆け巡り、目に涙が溢れて「兄弟あなたを赦します。」と言いました。それは今まで体験したことのない神の愛だったそうです。

「私たちに与えられている聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」(ローマ5:5)

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

# SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2011.12.11 No.661

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

「彼らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて、ユダに攻めて来たアモン人、モアブ人、  
セイル山の人々を襲わせたので、  
彼らは打ち負かされた。」



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlccfrh/>